



# 保健環境組合 だより

REPORT No. 10

# 4

2021 Apr.



令和3年3月上旬の新ストックヤード北東面

## 新資源物ストックヤードが完成しました



令和3年3月上旬の新ストックヤード南西面

令和3年2月13日に発生した福島県沖地震により、被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。本組合の各処理施設には大きな被害もなく、通常処理業務に加え、令和元年10月に発生した、台風19号による災害ごみと、本地震で発生した災害ごみの処理も進めています。  
また、昨年8月に始まった、新しい資源物ストックヤードの建設工事につきましては、半年あまりの工事期間を経て、施設が完成いたしました。これを受け、4月1日から施設の運営を開始して参ります。  
皆様には、今後とも、ごみの減量化、分別の対応に、特段のご協力をお願いいたします。

## 須賀川地方休日夜間急病診療所

須賀川地方休日夜間急病診療所では、須賀川医師会、須賀川薬剤師会の協力を得て、初期救急医療を行っています。



### 診療科目

内科・小児科

受診の際は**保険証・お薬手帳**をお持ちください。  
各医療助成受給者資格証をお持ちの方は、忘れずに窓口でご提示ください。

### 診療日・診療時間 (受付終了時間)

平日/月曜～金曜日	19:30～21:30 (21:15)
土曜日	18:30～21:00 (20:45)
日曜日及び祝日 (振替休日を含む)	9:00～12:00 (11:30) 14:00～17:00 (16:30)

### 患者さんへのお願い

コンビニ受診はやめて、医師が働きやすい環境づくりにご協力をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、咳、熱、下痢などの症状がある方は、事前にお電話にてお問い合わせください。  
※薬の処方については、原則1日分(土曜日は2日分)となりますので、後日かかりつけ医などで受診してください。  
※注射、点滴、血液・レントゲン検査、インフルエンザの検査、及び新型コロナウイルスの検査等の各種検査や外傷などは、当診療所では対応していません。  
※休日及び夜間においては、病院に行く前に当診療所に相談することをお勧めします。必要に応じて、病院での検査や入院が必要な場合、二次病院等へ紹介しております。

### 二次病院

公立岩瀬病院	須賀川市北町20	0248-75-3111
池田記念病院	須賀川市森宿字狐石129-7	0248-75-2165
須賀川病院	須賀川市丸田町17	0248-75-2211

### 診療場所

#### ■住所

〒962-0847 須賀川市諏訪町67-1

#### ■電話

TEL.0248-76-2980(診療時間内)



### 駐車場について

保健センター駐車場は、平成30年4月1日から、「施設駐車場への迷惑駐車」や「公共施設駐車場の無料開放による民間駐車場への影響」などの街なか駐車場の課題を解消し、施設利用者の利便性を確保するため有料となりました。診療所をご利用の方は従来どおり無料となりますが、施設を利用しない場合は有料となります。

診療所ご利用の方は、診療終了後の精算時に事務員にパーキングチケットを渡して無料手続きを受けてください。



保健環境組合だより

No. 10  
2021 Apr.

須賀川地方保健環境組合  
須賀川市森宿字ピワノ首43番地1 TEL.0248-73-4515 FAX.0248-73-4526  
<http://www.kankyou-sukagawatiho.jp/>

## 昭和

- 昭和38年 [1963] 1月30日  
「須賀川地方衛生処理組合」設立

- 昭和40年 [1965] 4月1日  
し尿処理施設の業務を開始  
(処理能力63kl/日)

- 昭和42年 [1967] 3月1日  
ごみ処理施設(第1焼却炉)の業務を開始  
(処理能力20t/日:平成元年(1989)停止)

昭和30年代後半から40年代にかけて、日本は高度成長期に入り、経済的・物質的に飛躍的な発展を遂げた。しかし、それに伴い、廃棄物の質の多様化・量の増大が引き起こされ、産業公害、都市公害が大きく社会問題化した。

- 昭和50年 [1975] 2月1日  
ごみ処理施設(第2焼却炉)の業務を開始  
(処理能力30t/日:平成元年(1989)停止)

- 昭和50年 [1975] 3月1日  
し尿処理施設を増設(増設分20kl/日)  
(合計処理能力83kl/日:平成7年(1995)停止)

## 1963-1986

- 昭和54年 [1979] 1月1日  
休日夜間急病診療所の設置に伴い、  
「須賀川地方保健環境組合」に改称

- 昭和58年 [1983] 8月26日  
須賀川市火葬場の廃止に伴い、  
須賀川地方保健環境組合に斎場業務を移行

- 昭和61年 [1986] 4月1日  
最終処分場(第1期)の業務を開始  
(~平成12年(2000)7月)  
(埋立面積23,390㎡、埋立容量113,785㎡)

昭和48年(1973)と54年(1979)の2度にわたるオイルショックを契機に、資源・エネルギーの有限性、廃棄物の大量発生に伴う処分場不足や周辺環境悪化等が問題視され、廃棄物の減量化・リサイクルの推進が叫ばれてきた。



## 平成

## 1990-2019

- 平成2年 [1990] 4月1日  
ごみ焼却処理施設の本格稼働  
(処理能力100t/日=50t/16h×2、  
平成31年(平成31年(2019)停止))

- 平成6年 [1994] 3月25日  
最終処分場(第2期)竣工  
(埋立面積19,920㎡、埋立容量140,800㎡)

- 平成6年 [1994] 11月8日  
粗大ごみ焼却施設の稼働  
(処理能力3.35t/日)

- 平成8年 [1996] 4月1日  
し尿処理施設の本格稼働  
(処理能力97kl/日)

- 平成12年 [2000] 2月24日  
資源物ストックヤード供用開始、  
ペットボトル減容機稼働  
(延床面積369㎡、減容機処理能力300kg/h)

- 平成12年 [2000] 7月  
最終処分場(第1期)への埋立業務を終了  
(使用期間:14年4ヶ月)  
同年8月より最終処分場(第2期)への埋立業務を開始

- 平成13年 [2001] 3月31日  
粗大ごみ焼却施設の廃止

- 平成17年 [2005] 4月1日  
長沼町及び岩瀬村が須賀川市に合併

- 平成20年 [2008] 4月1日  
直接搬入家庭ごみの事前予約制開始

- 平成23年 [2011] 3月11日  
東北地方太平洋沖地震発生  
(東日本大震災)

- 平成23年 [2011] 7月1日  
組合事務所位置の変更  
(須賀川市八幡町135番地から、  
同市内森宿字ビワノ首43番地1に改める)

- 平成31年 [2019] 4月1日  
新ごみ処理施設の本格稼働  
(処理能力95t/日、47.5t/24h×2)



## 令和

## 2021-

- 令和3年 [2021] 4月1日  
新資源物ストックヤードの完成  
(延床面積約420㎡)